

湖南市文化財講座「地域の魅力再発見！まち歩き・ワークショップ」開催結果

1. ワークショップの概要

第2回は石部で開催。湖南市役所西庁舎に集合し、講師の説明とともに旧東海道沿いでまち歩きを実施。その後、こころの街角サロンいしふ宿駅でグループワークを実施し、「石部らしい」文化財について意見交換を行った。

日 時：令和7年7月19日（土）午前9時～正午

会 場：こころの街角サロンいしふ宿駅

参加者：一般参加者7名、湖南市商工観光労政課4名

講師：八杉淳氏（草津宿街道交流館）

2. まち歩きルート

湖南市役所西庁舎 → 石部中央交差点ポケットパーク（高札場跡） → 旧淡海銀行

→ 小島本陣跡 → 田楽茶屋（休憩） → 八幡屋 → 鉤の手（一里塚跡、見附跡）

→ 吉御子神社 → こころの街角サロンいしふ宿駅

3. 内容

①地域に伝わる文化財

石部宿関係：小島本陣跡、愛宕神社、旧建築（八幡屋）、鉤の手状の地形

社寺：吉御子神社、吉姫神社、真明寺など

資料館：雨山の歴史民俗資料館で東海道や宿場関係の資料を展示・保管している。

②後世に伝えていく上で課題

・小島本陣跡が草だらけで荒れている。

・古い建造物が減ってきてている。

→今も居住・利用があるのは八幡屋、旧淡海銀行など。湖南市景観計画において開発の際は古い町並みに配慮を、としているが法的な強制力まではない。

・資料館の利用が少ない。

③課題の解決に向けて

・旧建築の保存

古い建物を残したくなるような施策（所有者に補助金や感謝状のようなものを出す）

・教育、普及活動

石部宿について子どもだけでなく教師にも学んでもらう機会を作る。

・ターゲットごとに情報発信のやり方を考える。

→市外、観光客…石部の特色をまとめた地図などの資料を宿駅などに展示。地元商店と協力して特産品を作る。

地元・市内…歴史講座の開催、図書館との連携。

・資料館の活性化…宿駅などの出張展示、図書館に関連図書を置くなど人目につく工夫を。

④その他意見

- ・旧淡海銀行の建物はヴォーリズ建築なのか？
→図面が確認されておらず、違う可能性が高い。しかしヴォーリズでなくとも古い建造物には変わりなく、図面などが確認できるとよい。
- ・愛宕神社が 15 社ある。かつて火災が多かったために愛宕信仰が根付き、現在も愛宕まつりが行われている。ひとつの地域にこれだけの数があるのは大きな特色といえる。

3.まとめ

江戸時代の宿場町として栄えた点は大きな特色で、現在でも旧東海道沿いの地形や一部建築に面影がみられる。また他の宿場町と比較しても、愛宕神社が多く祀られている点は特徴的である。

「石部地域ならでは」の要素は豊富といえるが、一方でそれらの整備・周知が行き届いていないという課題を挙げていただいた。図書館に資料館と公共施設が多い地域である点も活かし、効果的な情報発信を行う術を探っていきたい。



まち歩き風景